保管用

施工説明付き

保証書別添付

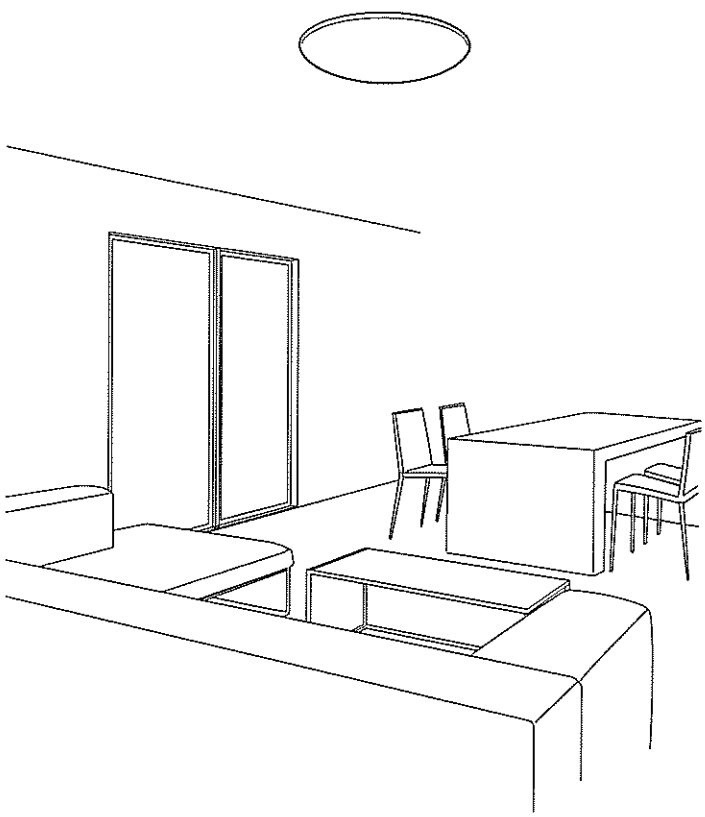
Panasonic

取扱説明書

住宅用照明器具
（シーリングライト）

ツインPaシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2

各部のなまえと付属部品 …… 3

照明器具を取り付ける …… 4

照明器具を取り外す …… 6

あかりをつける・消す …… 7

リモコンの便利な使いかた …… 8

お手入れ・ランプ交換 …… 9

ご使用上に関するお知らせ …… 9

故障かな？と思ったら …… 裏表紙

仕様 …… 裏表紙

保証とアフターサービス …… 裏表紙

85形 — ③

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

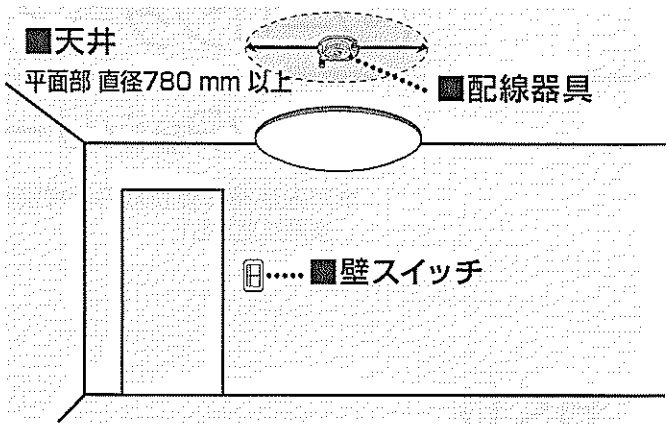
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれのある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告



■天井

●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

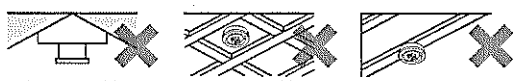
必ず守る

●取付金具は補強材のある場所に確実に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。



禁止

●55度を超える傾斜した場所に取り付けない

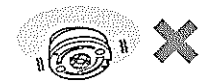
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は天井面取り付け専用です。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

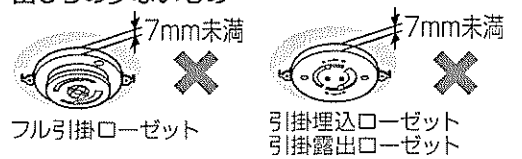


●次のような配線器具には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止

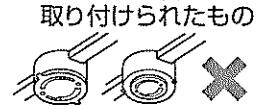
出しろの少ないもの



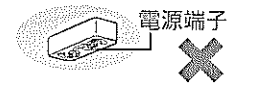
斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ

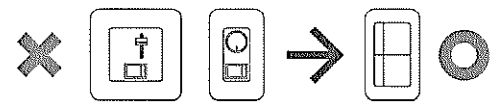


■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

必ず守る

12

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中) に基づき、自主点検
してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因と
なることがあります。

●カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

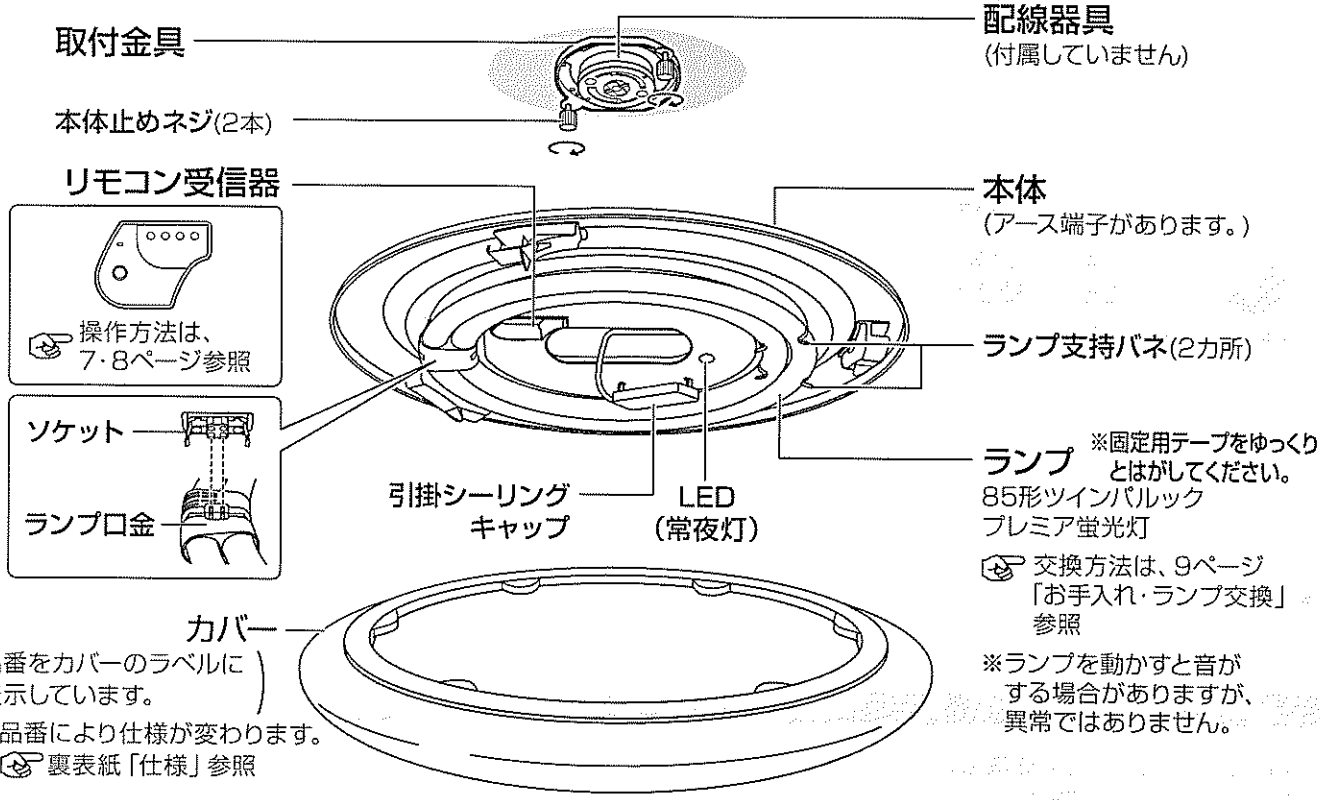
●浴室など湿気の多い場所や
屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

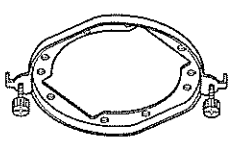
各部のなまえと付属部品　施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具 (カバー形状は品番により異なります)



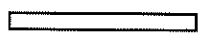
本体取り付け用付属部品

取付金具(1個)
本体止めネジ(2本)



取付金具用
木ネジ(2本)

パッキン大
(1本)
天井クロス
剥がれ防止用



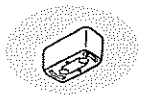
パッキン小
(8枚)
天井クロス
剥がれ防止用

●使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

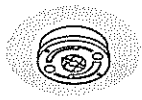
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 下記の準備を行ってください。

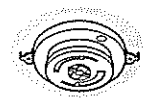


角型引掛
シーリング
WG1000

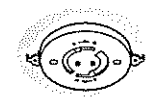


丸型フル引掛
シーリング
WG5005
WG5015

丸型引掛
シーリング
WG4000 WG4420
WG4425 WG1500



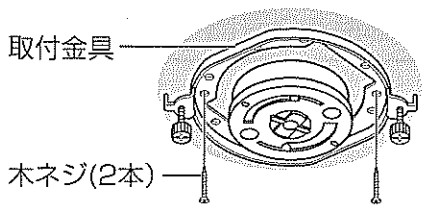
フル引掛
ローゼット
WG6005



引掛埋込
ローゼット
WG6000
WG6130
WG6420

付属の取付金具の取り付けが必要です

補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で、
取付金具を取り付ける

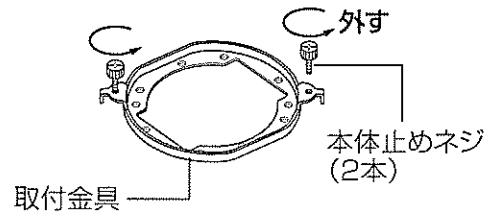


⚠ 警告

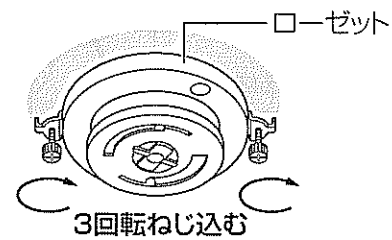
必ず守る　取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下してけがのおそれがあります。

付属の本体止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている本体止めネジを外す



②ローゼットに本体止めネジを仮止めする



●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具（補修部品：HK956000SU）が必要です。

上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

2 天井のクロスを確認して、取り付けの準備をする

確認

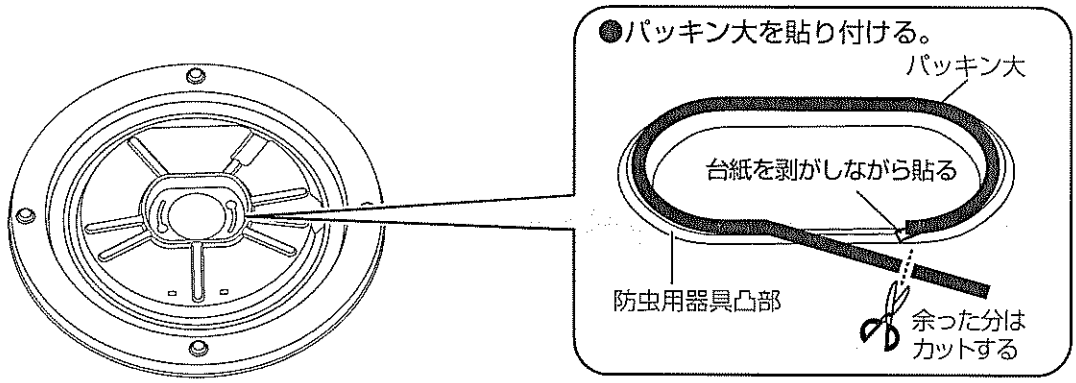
天井が塩ビクロスまたはオレフィンクロスの場合は
付属のパッキンを貼り付けてください。

注意

左記クロスに本体を取り付ける場合、
必ず付属のパッキンを貼り付ける
本体にクロスが貼り付き、クロス
剥がれの原因となります。

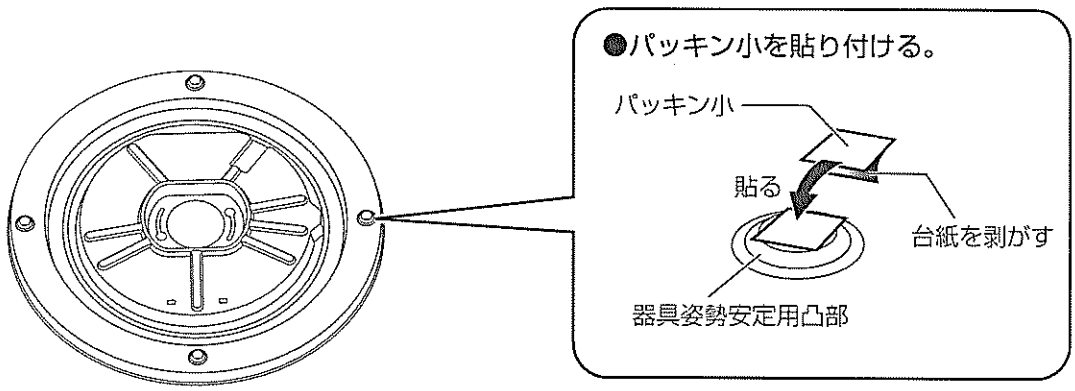
照明器具本体への付属パッキン大/小の貼り付け手順

①防虫用器具凸部全周に、パッキン大の台紙を剥がしながら貼り付ける。
（余った分はカットする）

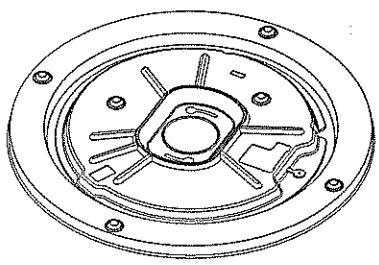


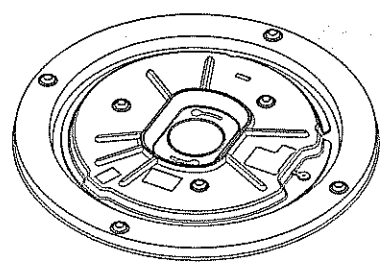
（器具タイプにより凸部の形状が違うものがあります。）

②器具姿勢安定用凸部に、パッキン小の台紙を剥がし貼り付ける。



●器具タイプで凸部の数が違います。全ての凸部に貼り付けてください。





15

（次ページにつづく）

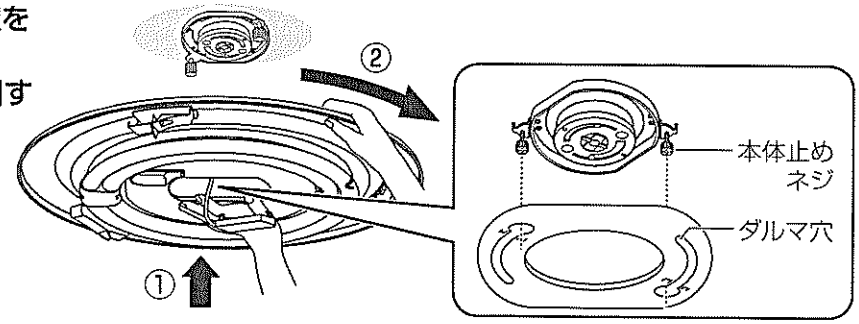
照明器具を取り付ける（つづき）

安全のため、電源を切ってから行ってください

3 本体を取り付ける

◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

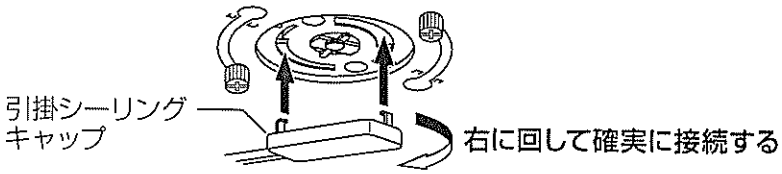
①本体止めネジとダルマ穴を合わせて、押し上げる
②本体を止まるまで右に回す



4 本体止めネジ（2本）を締め付ける

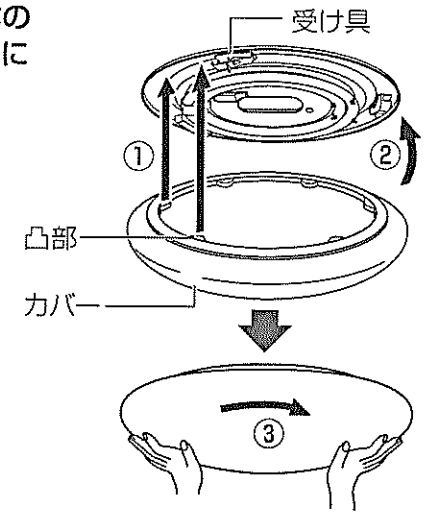
確認 ●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。
●本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

5 引掛シーリングキャップを接続する



6 カバーを取り付ける

①カバーの凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせる
②カバーを持ち上げる
③カバーを止まるまで右に回す



⚠ 注意

必ず守る
カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

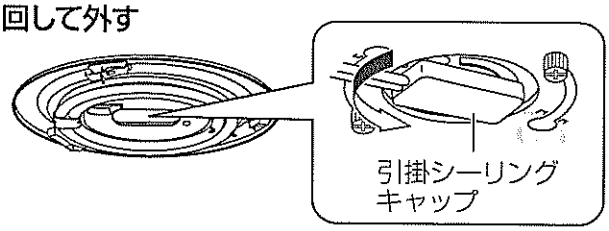
確認 バランスを見て、カバーが水平に取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に回して外し、再度、6 を行う。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

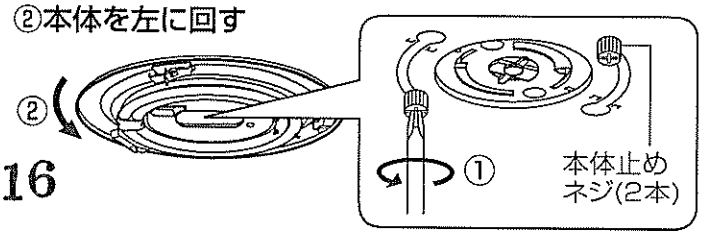
1 引掛シーリングキャップを外す

引掛シーリングキャップを左に回して外す



2 本体を外す

①本体を支えながら本体止めネジ(2本)をゆるめる
②本体を左に回す



あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチ ON → 点灯

記憶している前回の「消灯前の明るさ」で点灯します

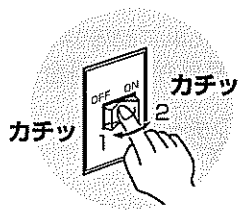
壁スイッチ OFF → 消灯

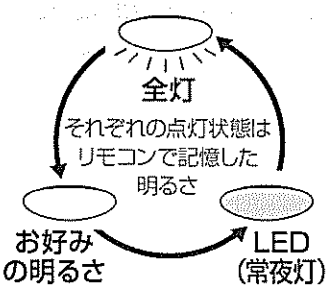
今回の「消灯前の明るさ」を記憶して消灯します

●全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

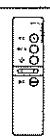




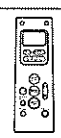
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコン(別売)で照明器具を操作する　壁スイッチはONの状態にしてください。

別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変えられます。
機種によりタイマーの機能があります。

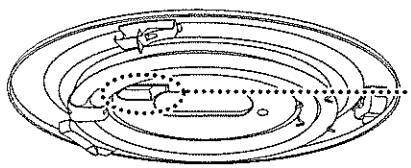


HK9327K
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能



HK9470
- ●タイマー機能
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能
- ●LED手元灯付き

リモコン受信器(本体)



リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リセットスイッチ
動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

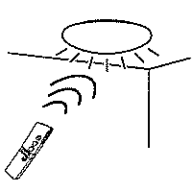
音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入

OFF/ON スイッチ
押すごとに消灯/全灯

リモコン(別売)

(例)HK9327K の場合

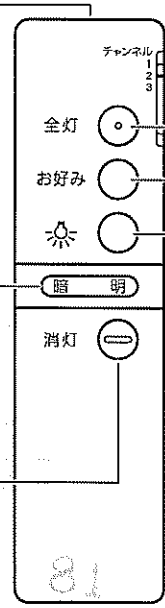
送信のしかた
必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部
※傷つけたり、汚したりしないでください。

明暗ボタン
蛍光灯(100～約10%)
LED(6段階)の明るさを調整
☞ 8ページ「蛍光灯、LED(常夜灯)を調光し明るさを記憶させる」参照

消灯ボタン



チャンネルスイッチ
操作する器具のチャンネル(1～3)を設定
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

全灯ボタン
蛍光灯が100%の明るさで点灯
☞ 8ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

お好みの明るさボタン
蛍光灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定:約60%の明るさ)
※明暗ボタンで100%に変更した場合は全灯と同じ明るさで点灯します

LED(常夜灯)ボタン
LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定:100%の明るさ)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

17

リモコンの便利な使いかた

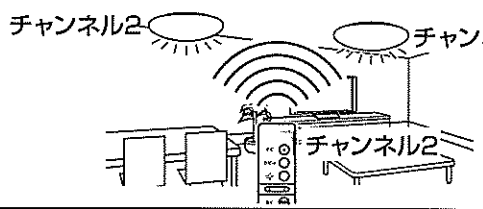
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

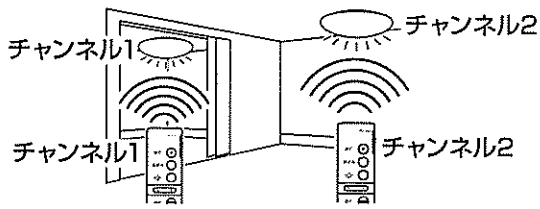
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



① チャンネル設定スイッチ

リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す
→「ピッ」と音がする

② チャンネル 1 2 3

リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例:チャンネル1)

③ 全灯

リモコンのいずれかのボタンを押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

蛍光灯、LED(常夜灯)を調光し明るさを記憶させる

蛍光灯

① お好み

リモコンの「お好みの明るさボタン」を押す

② 暗 明

リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する→記憶

LED(常夜灯)

①

リモコンの「LED(常夜灯)ボタン」を押す

② 暗 明

リモコンの「明暗ボタン」でLED(常夜灯)の明るさを調節する→記憶

メモ
●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●「全灯ボタン」で点灯させた後に「明暗ボタン」で明るさを調節しても記憶されません。

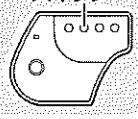
全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを
100~約10%の範囲で設定することができます。

① 全灯

リモコンの「全灯ボタン」を押す

② OFF/ON スイッチ



リモコン受信器(本体)の「OFF/ONスイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける

③ 暗 明

リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する

④ 全灯

リモコンの「全灯ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして変更完了

お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認 シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

●ランプの明るさが低下したり、
点滅をくり返したりするようになると寿命です。
ランプを交換してください。

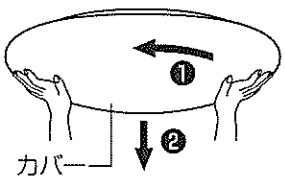
●パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

ランプの種類が表示されています

ランプの交換方法

①カバーを取り外す

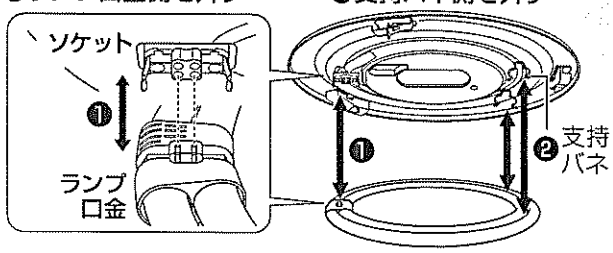
❶カバーを止まるまで左に回す



❷カバーを外す

②古いランプを取り外す

❶ランプ口金側を外す　❷支持バネ側を外す



③新しいランプを取り付ける

❶ランプ口金を確実にソケットに差し込む

❷支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

☞ 6ページ
「照明器具を取り付ける」
手順 6 参照

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。

●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。
また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。

●非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。

●低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。
また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。※1

※1：低誘虫UVカットありタイプのみ対象。

☞ 裏表紙「仕様」参照

【 周囲の影響 】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。

●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

故障かな?と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	☞9ページ「お手入れ・ランプ交換」
	ランプが切れている	ランプを交換する	
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早く OFF→ONにする	☞7ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞お使いのリモコンの取扱説明書
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する	☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを変更する ☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様　付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

品番			使用電圧	周波数	消費電力	ランプ	カバー
HSFA5095K HSFA5152 HSFA5159 HSFA5171 HSFA5179	HSFA5131-RQV HSFA5153 HSFA5161 HSFA5173 HSFA5181	HSFA5134-RQV HSFA5156 HSFA5166 HSFA5175	AC 100 V	50/60 Hz共用	70W (リモコンOFF時 1W以下)	85形 ツインパルック プレミア蛍光灯	低誘虫 UVカット なし
HSFA5123-RQV HSFA5201	HSFA5126-RQV HSFA5204	HSFA5193 HSFA5207					低誘虫 UVカット あり

●品番はカバーのラベルをご参照ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ!
●その他は、「お客様ご相談センター」へ!
(連絡先は保証書内在中)

■ 保証書(別添付)

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。(ランプなどの消耗品は除きます。)
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■ 補修用性能部品の保有期間 6年

この照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打切り後最低6年間保有しています。
注) 補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容
①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況(できるだけ具体的に)

●保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
技術料　診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2010

HSFA5123-T3A3
N0110-030610